

ちば里山新聞

(第56号)
 編集発行 NPO 法人ちば里山センター
 袖ヶ浦市長浦拓2号 580-148
 ☎ 0438-62-8895
 題 字 倉島 貴浩
 (ワークホーム里山の仲間たち)

ちば里山新聞は千葉県からの事業委託を受け、特定非営利活動法人ちば里山センターが編集発行しています

身を守るマダニ対策の準備を

チラシなどで関係機関が注意喚起

例年、春から秋にかけて、マダニの活動が盛んになり、マダニに咬まれる危険性が高まる時期となっています。

マダニにかまれると重症熱性血小板減少症候群(SFTS)などに感染する恐れがあり、特に5月～8月の発症が多く、重症の場合は死亡する事例が報告されています。

主な症状は、咬まれてから6日～2週間後に発熱、倦怠感、消化器病状(食欲低下、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛)などが現れ、医療機関の受診が必要です。

草むらや藪など、マダニが多く生息する場所に入る場合には、長袖・長ズボン(シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる、または登山用スパッツを着用する)、足を完全に覆う靴(サンダル等は避ける)、帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等、肌の露出を少なくすることが大事です。市販されている虫除け剤を利用することも有効な対策になります。

林野庁はじめ、厚生労働省、国立感染症研究所などの機関が注意喚起を呼びかけるため、ポスター、チラシが配布されています。

2013年3月以降に届出のあったSFTS症例数・死亡数の年次推移

| 年 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 |
|-------|------|------|------|------|------|------|
| 症例数 | 40 | 61 | 60 | 60 | 90 | 77 |
| うち死亡数 | 14 | 16 | 11 | 8 | 8 | 4 |

国立感染症研究所 HP より



フタゲチマダニの刺咬

「マダニ対策、今できること」(マダニ対策に関するパンフレット 厚生労働省 HP より)

- マダニの生息場所** シカやイノシシ、野ウサギ、野ネズミなどの野生動物が出没する環境に出没する。民家の裏山、裏道、畑、あぜ道などにも生息しています。
- マダニから身を守る服装** 野外では腕、足、首など肌の露出を避ける
- マダニから身を守る方法** 上着や作業着は家の中に持ち込まない。野外労働後はシャワーや入浴でダニがついていないかチェックする。ガムテープで服についたダニを除去する方法もある
- 市販されているマダニの忌避剤の利用** 以上の方法でマダニによる被害を防ぎましょう。

咬まれないポイント

- 肌の露出を少なくする、明るい色の洋服を着る、虫除け剤を使用する
- 無理に引き抜こうとせず、医療機関(皮膚科)で処置してもらう(マダニの抜去、洗浄など)
- マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受ける

咬まれたときの対処法

里山活動に関する様々な講座・講習会を開催しています。

各講座の詳しい内容は、問合せ先までお願いします。

講座・講習会の受講生を募集します

注意 各講座の定員は先着順となります。

| 講座名 | 会場 | 内容 | 開催日 | 受講料 | 定員 | 申込期限 |
|-------------------------------|---|--|--|---|------|---|
| チェーンソー・刈払機 入門講座 | 谷当工房 (千葉市若葉区 谷当町 70 番地) | チェーンソーや刈払機 の使い方を学ぶ初心者 向け講座 | 5/26(日) | 無料 | 20 名 | 5/22(水) |
| ちばの里山スクール ～松戸の里やまを知る～ | 松戸市女性センター ゆうまつど(講義) 関さんの森 | 都市部の里山の理解を 深めるための講義及び 現地検討会 | 6/12(水) | 無料 | 20 名 | 6/10(月) |
| ちば里山カレッジ 「森を知ろう・ 森に学ぼう」 | 第 1 回～第 3 回 ちば里山センター (袖ヶ浦市) 第 4 回 石みやの森 他 (松戸市) 第 5 回 むつみの森 他 (八千代市・印西市) 第 6 回 千葉市民会館 | 第 1 回 千葉県の自然の豊かさを学ぶ 第 2 回 生物多様性保全の森づくり 第 3 回 森林の密度管理 第 4 回 里山の色々な姿を学ぶ 第 5 回 都市近郊の里山保全活動 第 6 回 都市近郊の森づくり | 6/23(日) 7/28(日) 8/25(日) 10/6(日) 11/3(日) 12/1(日) | 全 6 回 8,000 円 各回ごと の受講料 は問い 合わせ下 さい | 25 名 | 6/20(木) ※各回ご との申込 は開催日 の 5 日前 まで |

上記の詳細は、ホームページをご覧ください。

申込方法: 講座名、住所、氏名(ふりがな)、生年月日、連絡先を明記し、FAX かメールでお申し込みください。

問合せ先: ちば里山センター ☎0438-62-8895 FAX0438-62-8896 E-mail info@chiba-satoyama.net

チェーンソー ・ 刈払機の資格取得講習会

受講料:チェーンソー15,100 円 刈払機 10,600 円

| 会場(申込・問合せ先) | チェーンソー特別教育 | 刈払機取扱安全衛生教育 |
|--------------------------------------|---|--|
| 千葉県木材市場協同組合 (東金市) ☎ 0475-53-0123 | 7/9(火)～10(水)、9/10(火)～11(水)、11/12(火)～13(水)、1/21(火)～22(水)、3/4(火)～5(水) | 6/11(火)、8/6(火)、10/8(火) 12/3(火)、2/4(火) |
| 千葉県林業サービスセンター(富津市) ☎ 0439-37-2004 | 10/7(月)～8(火)、12/9(月)～10(火) 2/13(木)～14(金) | 5/30(木)、6/21(金)、9/19(水) |
| 千葉県森林組合南部支所 (君津市) ☎ 0439-37-2004 | 6/27(木)～28(金) | 7/2(金)、11/14(木) |
| ちば里山センター (袖ヶ浦市) ☎ 0438-68-8895 | 6/15(土)22(土)の 2 日間 | 5/12(土)終了 |

※申込書は、ちば里山センターホームページからダウンロード可

講習会・イベントのご案内

〈どうぞ言ってご参加ください〉

*事務局に回答のあったものの中から 6月～9月に実施されるイベントの紹介です。その他のイベント情報等は、ちば里山センターのホームページをご覧ください。

若葉と花菖蒲見学ウォーク 主催 南房総市観光協会
 開催日時 6月9日(土)9:30～15:00頃
 参加費 500円 黒文字茶・パイヤ茶、無料サービス!
 集合場所 安馬谷青年館(南房総市安馬谷 906-1)
 申込・問合せ (担当・横山)
 ☎ & FAX 0470-46-3154 090-2758-2407

緑のおもしろ講座 千葉 主催:千葉県森林インストラクター会
 近郊の自然・地域文化などを楽しみながら学ぶ講座です。
 一味違った自然を見つけてみましょう。


■水元公園で水辺の植物に親しむ(花菖蒲も見頃!)
 日時 6月2日(日)10:00～14:00
 集合場所 JR 常磐線・京成線金町駅南口 5 番バス停
 受講料 1,500 円

■ 人に歴史あり、樹に年輪 あり ～年輪の謎解き～
 日時 7月14日(日)10:00～12:00
 集合場所 千葉市都市緑化植物園
 受講料 500 円
 申込・問合せ 080-5048-4390(担当・森池)
 詳しくは、ホームページをご覧ください。

しいのもりホテル観察会
 日時 6月16日(日)18:30～20:30(小雨決行)
 集合場所 しいのもり駐車場
 定員 20名(小学校4年生以上)
 参加費 100円(保険代等)
 持ち物 懐中電灯、軍手、長靴、長袖長ズボン
 申込先 0438-63-0811 袖ヶ浦市郷土博物館

谷当里山計画 NPO 法人 バランス21
 ◆親子でコメ作りと自然体験2019
 追加募集 (2家族空き有)
 ◆ホテル観察会 (場所:堂谷津)
 開催日時 7月27日(土)17:00～
 問合せ 090-1769--9494 (担当・佐藤)

ツリークライミングで木と友達になろう!
 ◆体験会の開催
 ◆ライセンス講習会(ベーシックツリークライマー)
 会場 千葉市中心 県内
 6月～9月 毎月1回開催予定
 問合せ 090-8879-8117(手戸)
 ツリークライミング@クラブミルフィーユ



里山じまん ④
里山むつみ隊

やちよの森に花が違ってきました!

八千代の里山「むつみの森」にきれいな花が咲きはじめました。「里山むつみ隊」は八千代市が主催する「里山楽校」(里山整備ボランティア人材育成講座)の第1期修了生が主体となって2012年(平成24年)に設立しました。当初、密集した樹木の間伐や倒木処理、笹の下刈りなど、森の整備、保全活動を続けてきました。活動場所は「むつみの森」から「こぶしの森」、「竹林」へと広がり、今は約4ヘクタールの森を管理しています。森では多くの山野草が蘇りました。マヤラン、サイハイランなど15種類の絶滅危惧種、要保護種が確認されています。植生調査も進み、樹木は常緑樹、落葉樹を合わせ81種、山野草が73種、シダ植物は20種です。里山活動しながら自生する生き物調査と保護を続けています。森の整備材を利用した杉柱やチェーンソーを使って製材した板材で「東屋」を作りました。また、千葉の伝承技術「上総掘り」の井戸を設置するなど、里山活動がより快適にできるようにしています。今年度は「こぶしの森」に上総掘りで井戸を掘る予定です。森の環境が整い、子ども達が自然に親しむ教育・学習の支援として小中学校生の「里山体験学習」をはじめ、市民団体の「自然観察会」、八千代市若年教員の「自然体験研修」等を積極的に受け入れています。最近では里山センター主催の刈払い機講習会が「むつみの森」で行われ、市民、他団体との交流、支援も行っています。

- 「ヤマトミクリの里づくり協議会」の活動に参加し、島田谷津の下草刈り、オオフサモの除去、植物調査等を行いました。
 - 小学生やその父兄と一緒に「竹林」の竹を使って「ミニ門松作り」や「竹灯ろう作り」をして大変喜ばれました。
 - 「こぶしの森」では親子を招き「桜」、「もみじ」の植樹会を行いました。樹木の成長が楽しみです。また、地元の「むつみ地区福祉祭り」にも参加し、交流を深めています。
- 「里山むつみ隊」はこれからも、「八千代の自然を次世代に引き継ぐ」をモットーに、荒廃した森を緑豊にして、森林の価値や整備の取り組みを広く地域住民や市民の皆さんに理解されるよう努めてまいります。



「自然観察会」で森を楽しむ市民団体

安全コラム⑧

チェーンソー特別教育の内容が変わります

胸高直径 20cm 以上の立木伐倒、かかり木処理、労働災害の防止の観点から伐木作業等の安全対策を強化

林業における労働災害による死亡者数は年間 40 人前後で推移しており、平成 23 年以降改善の傾向が見られないことから、厚生労働省は伐木作業等の業務に関する特別教育について、内容の統合や時間数を増やす改正をしました。

| 今回改正の主な内容 | |
|---|--|
| 1. チェーンソーによる伐木等の業務に関する特別教育について、伐木等の直径等で区分されていた特別教育を統合し、時間数を増やします。 | |
| 2. 伐木作業等における危険防止ために、以下のとおり規定します。 | |
| (1) | 受け口を作るべき立木の対象を胸高直径 40cm 以上のものから 20cm 以上に拡大する等、立木の伐倒時の措置を義務付けます。 |
| (2) | 事業者に対して、かかり木の速やかな処理を義務付けるとともに、事業者及び労働者に対して、かかり木の処理における禁止事項を規定します。 |
| (3) | 事業者は立木の高さの 2 倍に相当する距離を半径とする円形の内側には、当該立木の伐倒の作業に従事する労働者以外の労働者を立ち入らせてはならないこと等を規定します |
| (4) | 事業者は、チェーンソーによる伐木作業等を行なう労働者に下肢の切創防止用保護衣を着用させること、また、当該労働者に、当該切創防止用保護衣を着用することを義務付けます。 |
| 3. その他の改正を行います。 | |

(厚生労働省 HP より)

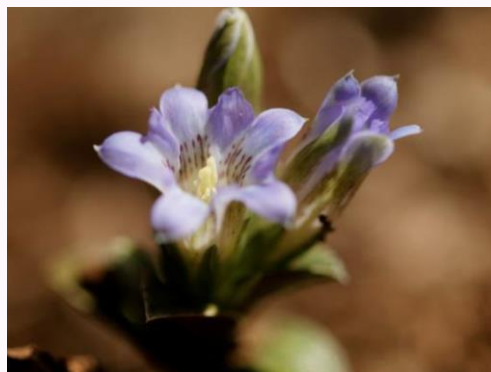
* 本年 8 月 1 日から実施される労働安全衛生規則の一部改正により、旧安衛則第36条第8号又は8号の 2 の特別教育修了者の方は補講が必要になります。

* 補講日程、受講料、申込についての詳細は、次回 57 号(9 月発行)でお知らせします。

~~~~編集後記~~~~

◇令和元年にあたり新しく編集長を指名されて慣れないあれやこれやの状態が悪戦苦闘の連続で、まわりのスタッフの助けにより、やっと発行に漕ぎ着けることができました。前回号からでもありますが講習会・イベントの案内を多く取り入れようと各里山団体からの情報を収集し、より多く掲載したつもりですがまだまだ少ないので多くの情報の提供をお願いします。里山新聞は里山人が見て里山にとって必要で役に立ち、かつ魅力的な誌面でなければと思っています。読者のご意見ご指導をお待ちしております。どうぞよろしくお願いいたします。(Y・A)

里山の風にゆられて⑫



フデリンドウ<筆竜胆> リンドウ科リンドウ属

字のごとく蕾が毛筆の先に似ることからこの名があるようで 4 月上旬に咲き固い広卵形の葉が対生に付く特徴がある。最近個体数が減り続け実に今年は1個体しか発見出来なかった。今年 3 月に観察会を開き蕾に印を付けて案内したが 4 月 4 日の時点で無くなっているのを発見し、悲しくなりました。

写真・文 赤松義雄 H31.4.4 袖ヶ浦市椎の森で

入会申し込み・問い合わせ先

特定非営利活動法人 ちば里山センター

〒299-0265 千葉県袖ヶ浦市長浦拓 2 号 580-148 ☎0438-62-8895 FAX0438-62-8896(平日 9:00~17:00)

E-mail [info@chiba-satoyama.net](mailto:info@chiba-satoyama.net) ホームページ <http://www.chiba-satoyama.net/>